

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 ヶ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
 - ・ PPEの点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。
- 点検に関する資料はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

マイクロフリップ



1.製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります:

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPEに対して生じた特殊な状況を記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2.予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年	00
製造日	000
検査担当	AA
識別番号	0000

コード B:

00 A 0000000 000

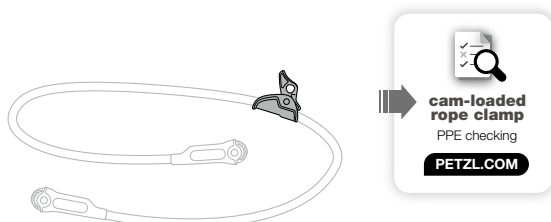
製造年	00
製造月	A
製造番号	0000000
識別番号	000

耐用年数を超えていないことを確認してください。

新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

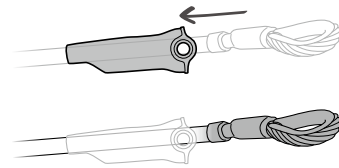
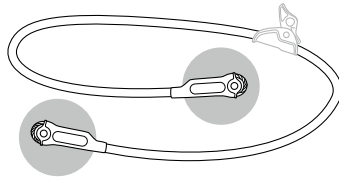
3.ロープ調節器の点検

- ・ ロープ調節器の状態を、それに対応する点検手順およびフォームを使って確認してください。
- 点検のためにロープ調節器をランヤードから取り外す必要はありません。



4.ロープの末端の点検

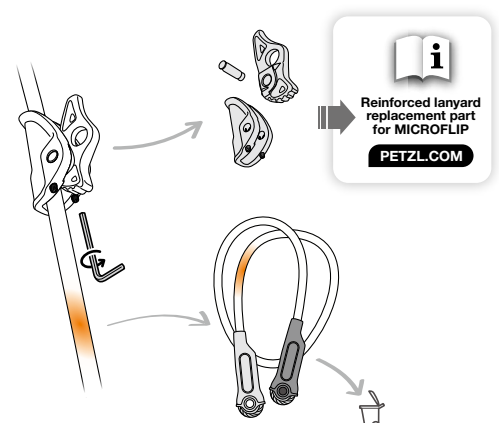
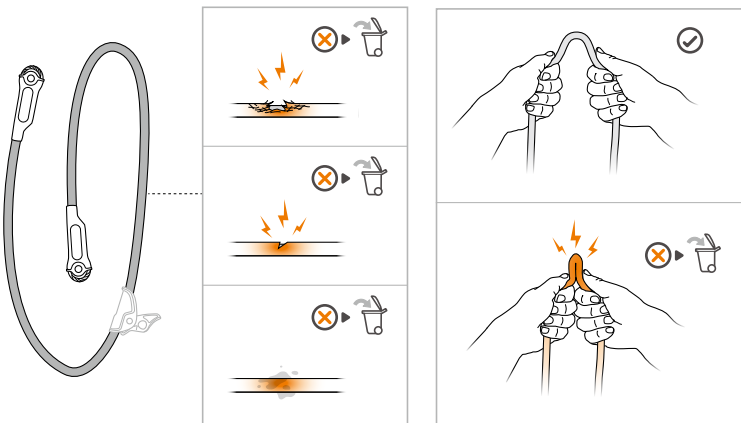
- ・ 保護スリーブの状態 (ひび、変形等) を確認してください。
- ・ スリーブをずらして、アタッチメントホールおよびケーブルの目に見える部分の状態を確認してください。(ほつれ、摩耗、ひび、変形、腐食など)



5.ロープの点検

- ・ ロープ全体を通して外皮の状態 (切れ目、摩耗、焦げ、柔らかい箇所または化学薬品との接触による損傷等) を確認してください。
- ・ ロープ全体を手に通し、ケーブルの変形 (損傷箇所、毛羽立ち、柔らかい箇所等) が無いことを確認してください。

- ・ 必要に応じてロープを取り外して、『マイクロフリップ用ロープ』 L33R と交換してください。交換方法については、交換用ロープの取扱説明書を参照ください。



6.機能確認

- ・ 地上レベルでランヤードを支点にセットして、地面に足が付いた状態で以下の確認をおこなってください。
- ・ ランヤードをスムーズに短く調節できること
- ・ ランヤードに体重をかけた時に滑らないこと

